

ドローン操縦の国家資格がスタート！

2022年12月5日に、無人航空機(ドローン等)の操縦ライセンス制度(国家資格)がスタートしました。背景として国土交通省が現行では飛行を認めていない「**有人地帯(第三者上空)での補助者なし目視外飛行**」(レベル4飛行)を2022年度中を目途に実現するためのものです。

レベル4飛行に向けたライセンスの概要

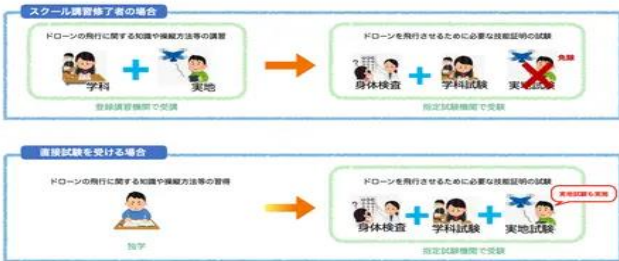


新制度の操縦ライセンス(一等資格)取得で、飛行可能!

出典: 小型無人機の飛行レベル(国土交通省)

～操縦ライセンス制度の概要～

「操縦ライセンス制度」は、国が新たに設立するいわゆる国家ライセンス制度です。これまでのドローン関連資格・ライセンスは民間管理団体が設立したものでしたが、自動車の運転免許のように国が設立・管理していくものとなります。資格が無くても今までの手間のかかる申請をすれば、飛行させることは可能ですが、今後物流、遠隔地の点検、警備などに携わる人には重要な資格となります。



出典: ドローンナビゲーター

～操縦ライセンス制度の種類～

これまで原則飛行禁止としてきた"第三者上空の(目視外)飛行"を可能とする「**一等無人航空機操縦士**」と、「**第三者上空の飛行**」はできないものの、これまで飛行許可・承認が必要だった飛行空域や飛行法が手続き不要で可能になる「**二等無人航空機操縦士**」の二種類があります。取得は16歳以上、有効期限は3年間です。

資格取得の流れと民間スクールとの関連

～操縦ライセンス試験の流れ～

2023年の早い時期に一等操縦ライセンスに係る学科試験及び実地試験を実施するため講習を民間スクールで実施できるよう登録基準などを策定しています。

試験 <指定試験機関(公正・中立性の確保の観点から全国で1法人)が実施>

講習の修了者については
実地試験を免除



学科試験概要

全国の試験会場のコンピュータを活用するCBT(Computer Based Testing)方式を想定

- <形式> 三肢択一式(一等:70問 二等:50問)
- <試験時間> 一等:75分程度 二等:30分程度
- <試験科目> 操縦者の行動規範、関連規制、運航、安全管理体制、限定に係る知識等
- <有効期間> 合格後2年間

直接試験

実地試験も実施



実地試験概要

実機による操作に加え、口頭試問等を実施することを検討
<試験科目> 飛行前のリスク評価、手動操縦、自動操縦、緊急時対応、飛行後の記録等

身体検査概要

公的免許証の提出等でも可(一等(25kg以上)は医師の検査を求めることを検討)

出展: L4飛行実現に向けた新たな制度整備

～登録講習機関(民間スクール)～

現在ドローンの民間スクールの資格を持っている方を優遇されるようですが、今後の登録機関については現在申請の民間スクールを審査中の状況です。



国土交通省HPで紹介されているSkydioX2E



ドコモによるSkydio講習会

ドローンの講習、活用方法や購入についてお気軽にご相談下さい!